

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年12月15日(2022.12.15)

【国際公開番号】WO2020/123449

【公表番号】特表2022-515293(P2022-515293A)

【公表日】令和4年2月17日(2022.2.17)

【年通号数】公開公報(特許)2022-029

【出願番号】特願2021-555149(P2021-555149)

【国際特許分類】

10

A 6 1 K 31/352(2006.01)

A 6 1 P 17/02(2006.01)

A 6 1 P 25/00(2006.01)

A 6 1 P 25/28(2006.01)

A 6 1 P 31/00(2006.01)

A 6 1 P 9/10(2006.01)

A 6 1 P 11/06(2006.01)

A 6 1 K 51/00(2006.01)

A 6 1 P 25/14(2006.01)

A 6 1 P 25/16(2006.01)

20

A 6 1 P 21/00(2006.01)

A 6 1 P 25/02(2006.01)

A 6 1 P 43/00(2006.01)

C 0 7 D 311/24(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/352

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 31/00

30

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 11/06

A 6 1 K 51/00 1 0 0

A 6 1 K 51/00 2 0 0

A 6 1 P 25/14

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 25/02

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 9/10

40

C 0 7 D 311/24

C S P

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月7日(2022.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

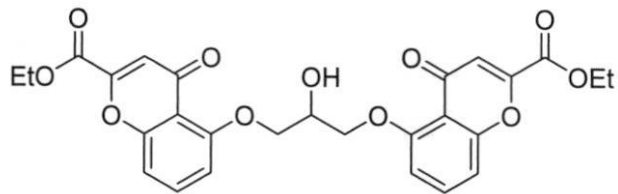
【特許請求の範囲】

50

## 【請求項 1】

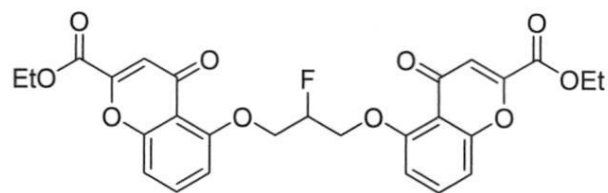
頭部外傷、外傷性脳損傷、認知症、感染症、アテローム性動脈硬化症または喘息の予防または治療のための医薬品の製造における、

## 【化 1】



10

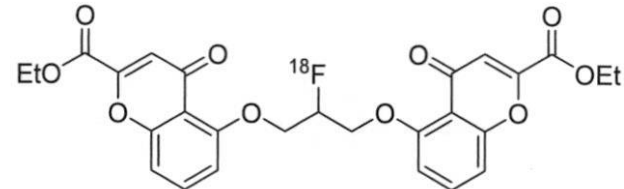
## 【化 2】



20

および

## 【化 3】



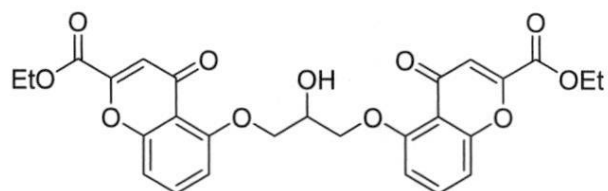
30

から選択される化合物の使用。

## 【請求項 2】

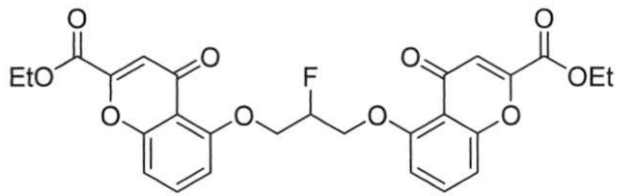
頭部外傷、外傷性脳損傷、認知症、感染症、アテローム性動脈硬化症または喘息の予防または治療のための医薬品の製造における、

## 【化 4】



40

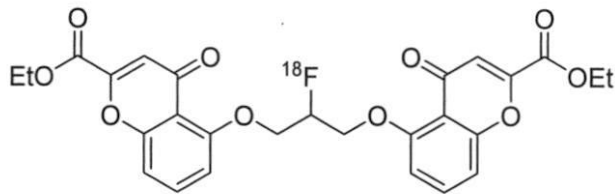
【化 5】



および

10

【化 6】



から選択される化合物および薬学上許容されるキャリアを含む医薬組成物の使用。

20

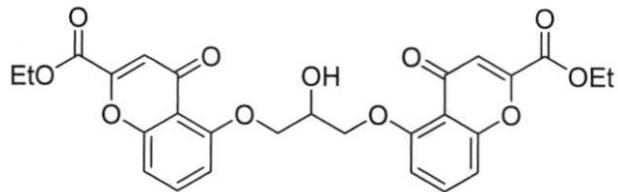
【請求項 3】

前記化合物が固形剤形である、請求項 1 または 2 に記載の使用。

【請求項 4】

前記化合物が、

【化 7】



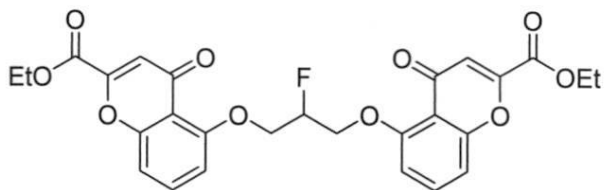
30

である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 5】

前記化合物が、

【化 8】



40

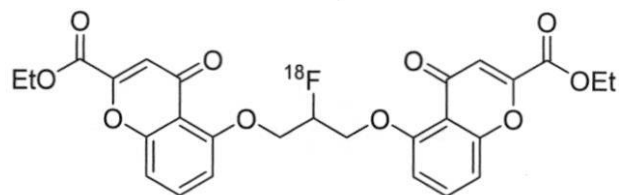
である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 6】

前記化合物が、

50

## 【化 9】



である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の使用。

10

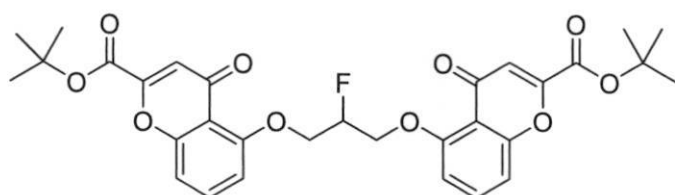
## 【請求項 7】

頭部外傷、外傷性脳損傷、認知症、感染症、アテローム性動脈硬化症または喘息の治療のための、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の使用。

## 【請求項 8】

以下の構造：

## 【化 10】



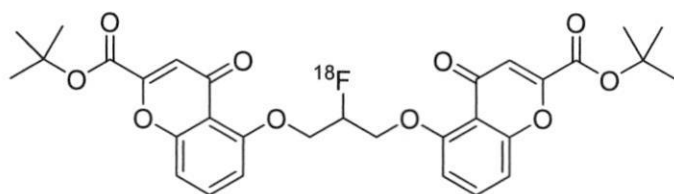
20

を有する化合物。

## 【請求項 9】

以下の構造：

## 【化 11】



30

を有する化合物。

## 【請求項 10】

薬学上許容されるキャリアと、請求項 8 または 9 に記載の化合物とを含有する医薬品組成物。

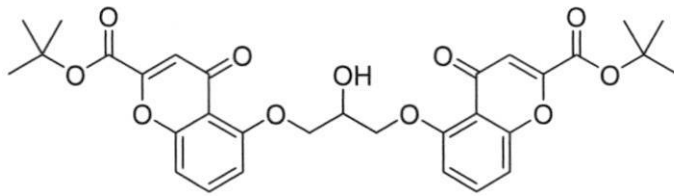
40

## 【請求項 11】

アルツハイマー病、ハンチントン病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脳卒中、虚血性脳卒中、プリオン病、頭部外傷、外傷性脳損傷、認知症、感染症、アテローム性動脈硬化症または喘息の予防または治療のための医薬品の製造における、

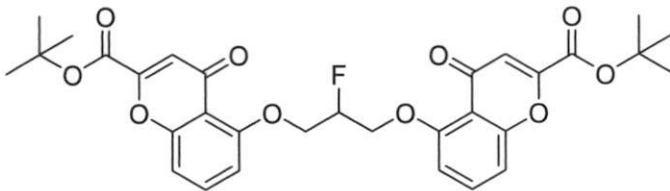
50

## 【化 1 2】



10

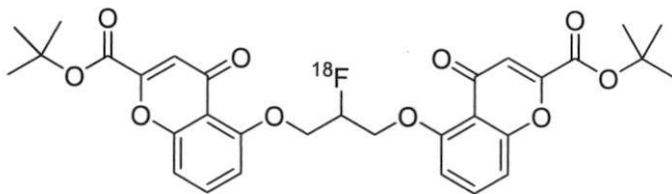
## 【化 1 3】



および

20

## 【化 1 4】



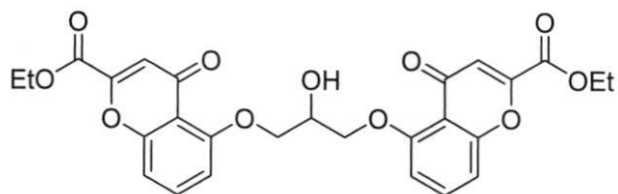
から選択される化合物の使用。

30

## 【請求項 1 2】

アルツハイマー病、ハンチントン病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脳卒中、虚血性脳卒中、プリオン病、頭部外傷、外傷性脳損傷、認知症、感染症、アテローム性動脈硬化症または喘息の予防または治療のための医薬品の製造における、

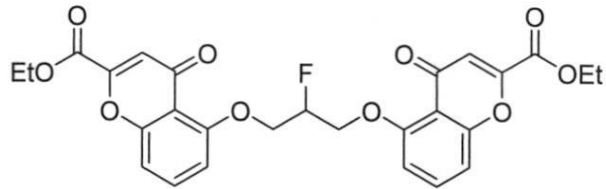
## 【化 1 5】



40

50

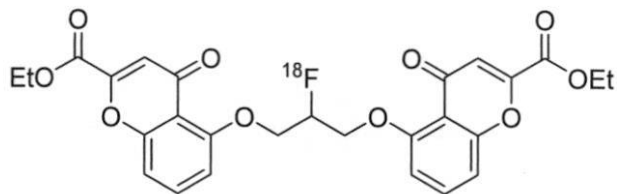
## 【化 1 6】



および

10

## 【化 1 7】



から選択される化合物および薬学上許容されるキャリアを含む医薬組成物の使用。

20

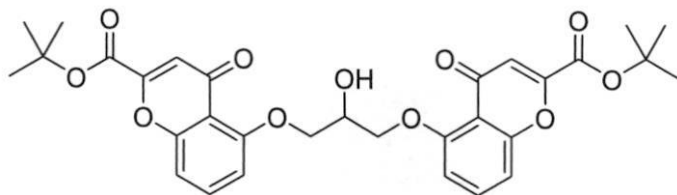
## 【請求項 1 3】

前記化合物が固形剤形である、請求項 1 1 または 1 2 に記載の使用。

## 【請求項 1 4】

前記化合物が、

## 【化 1 8】



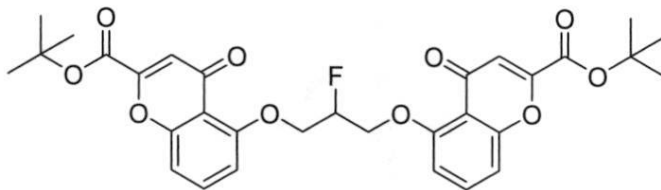
30

である、請求項 1 1 ~ 1 3 のいずれか一項に記載の使用。

## 【請求項 1 5】

前記化合物が、

## 【化 1 9】



40

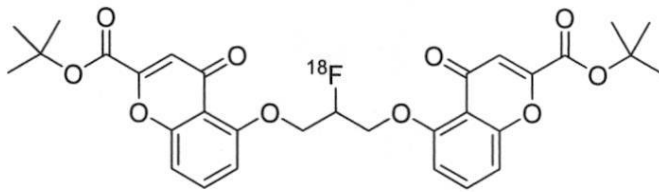
である、請求項 1 1 ~ 1 3 のいずれか一項に記載の使用。

## 【請求項 1 6】

前記化合物が、

50

## 【化 2 0】



である、請求項 1 1 ~ 1 3 のいずれか一項に記載の使用。

10

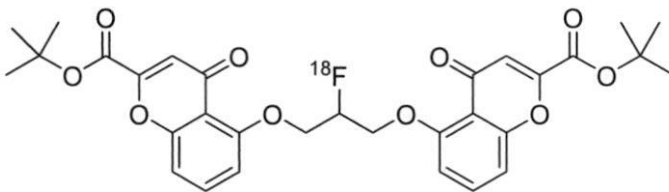
## 【請求項 1 7】

アルツハイマー病、ハンチントン病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脳卒中、虚血性脳卒中、プリオン病、頭部外傷、外傷性脳損傷、認知症、感染症、アテローム性動脈硬化症または喘息の治療のための請求項 1 1 ~ 1 6 のいずれか一項に記載の使用。

## 【請求項 1 8】

以下の構造

## 【化 2 1】



20

を有する化合物の疾患または症状のある被験体への投与を含む、疾患または症状を画像化する方法であって、

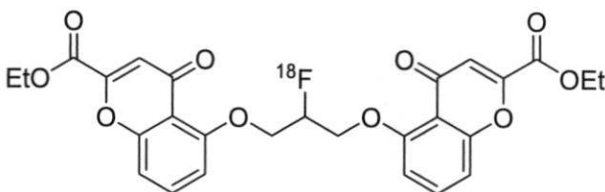
前記疾患または症状が、アルツハイマー病、ハンチントン病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脳卒中、虚血性脳卒中、プリオン病、頭部外傷、外傷性脳損傷、認知症、感染症、アテローム性動脈硬化症または喘息である方法。

30

## 【請求項 1 9】

以下の構造

## 【化 2 2】



40

を有する化合物の疾患または症状のある被験体への投与を含む、疾患または症状を画像化する方法であって、

前記疾患または症状が、頭部外傷、外傷性脳損傷、認知症、感染症、アテローム性動脈硬化症または喘息である方法。